

- ◆令和3年9月：両首長が汚水処理の広域化・共同化に向けた可能性検討調査実施について合意調査については、令和4年度にハード面（技術的実現可能性）を行い、可能性を見い出せれば引き続き令和5年度にソフト面（経営的実現可能性）を行うこととした。
- ◆令和4年4月：汚水処理の広域化・共同化の可能性検討調査に係る相互連携と協議会の設置に関する覚書を締結
逗子市と葉山町が相互連携し、将来にわたって下水道事業を継続的に安定して実施することをめざして調査を行い、結果等を下水道法に基づく協議会で検討することとした。

●協議会について

- ・協議会の構成員：逗子市長、葉山町長

・令和4年度開催状況

第1回（7月5日） 逗子市、葉山町の現状の把握

第2回（8月24日） 検討内容の中間報告

第3回（11月21日） 検討内容の最終報告
令和5年度の検討事項



第2回協議会

逗子市葉山町汚水処理の広域化・共同化可能性検討調査について②

●令和4年度：技術的検討内容について

【目的】

逗子市と葉山町の下水道事業の広域化・共同化の一環として、逗子市の汚水を葉山浄化センターで処理すること及びこれに伴う施設計画を行い、実現可能性を検討する。

【検討内容】

- ①広域化・共同化により逗子市と葉山町双方に利点を見出せるか
→新宿中継ポンプ場、葉山中継ポンプ場の廃止及び災害時対応を含めたケースの検討
- ②逗子市の晴天時汚水量を葉山浄化センターで処理・放流が可能か
→幹線管きよのルート及び敷地内での処理方式や施設配置等の検討
- ③逗子市の雨天時合流下水を葉山浄化センターで処理・放流が可能か
→雨天時合流下水量が晴天時汚水量の約3.5倍になり不可能であるため、逗子市合流区域から発生する雨天時下水増量分は逗子市浄水管理センター（雨天時対策施設）での処理を検討

【検討結果（施設計画のケース比較）】

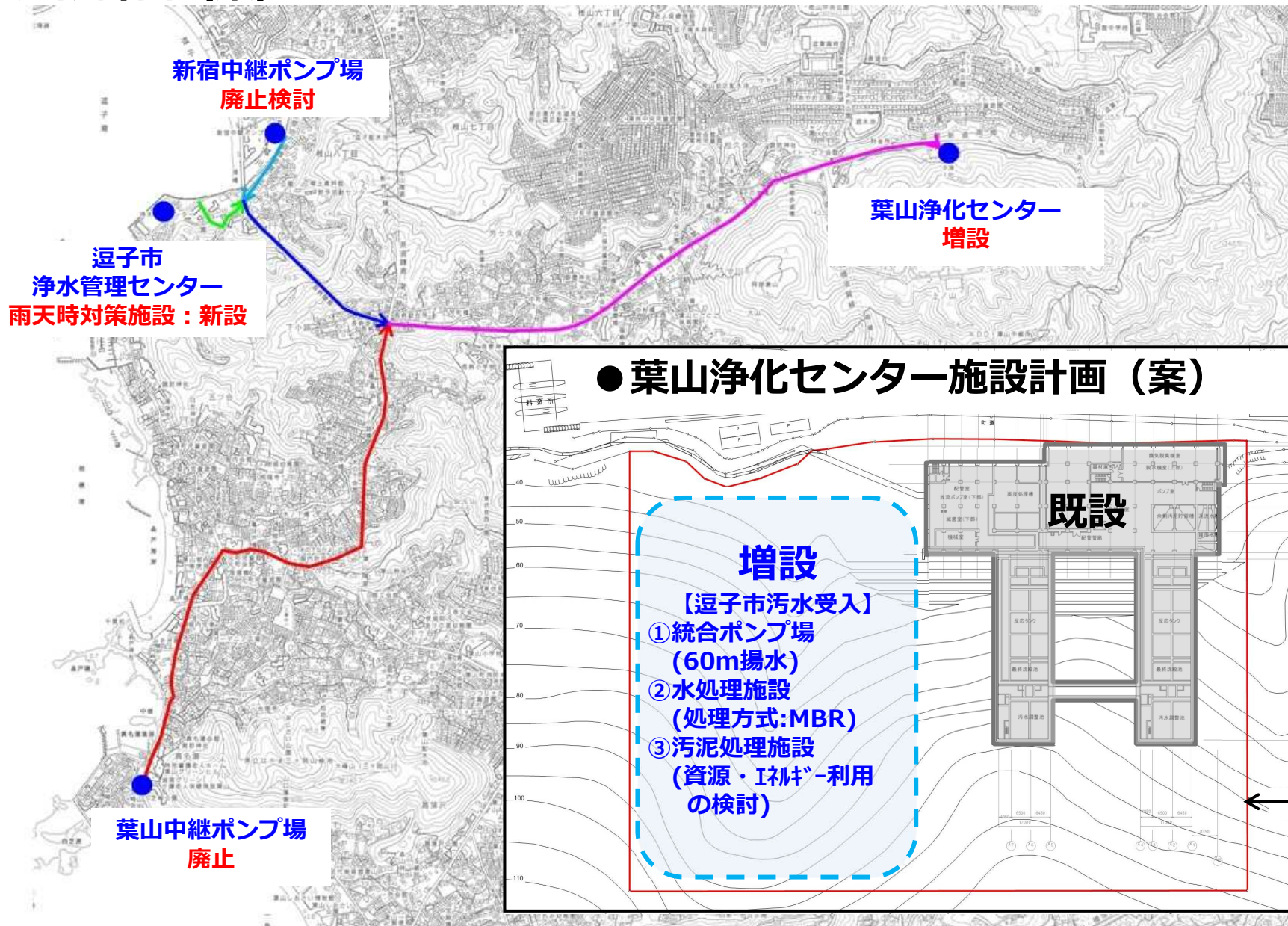
以下の4ケースが、いずれも技術的に施工可能

→可能性が見い出せたことから、引き続き令和5年度に検討を行う。

項目		ケースA	ケースB	ケースC	ケースD
対象施設	逗子市浄水管理センター	廃止（雨天時下水増量分は存続）			
	葉山中継ポンプ場	廃止			
	新宿中継ポンプ場	存続		廃止	
統合ポンプ場		葉山浄化センター場内	葉山浄化センター場外	葉山浄化センター場内	葉山浄化センター場外

逗子市葉山町汚水処理の広域化・共同化可能性検討調査について③

● 施設計画 (案)



●令和5年度の検討事項

(1) 施設計画の精査

施設が深い位置となるため、施工性及び維持管理性を向上させる平面・断面配置及び設備機種を検討

(2) 雨天時対策施設

逗子市浄水管理センターに新設する雨天時対策施設への導入技術の検討

(3) 定量評価による施設計画の最適案の選定

LCC（ライフサイクルコスト）、創エネのシステム導入や温室効果ガス発生量の算定及び経済性・環境性能における定量評価を考慮した最適案の検討

(4) 広域化・共同化事業の実施可否判断

広域化・共同化による事業と両市町単独による事業継続を総合的に比較